

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	福岡女学院大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	フクオカジョウクインダイガク
	大学等名2(連携大学等)	福岡女学院大学短期大学部
	科目名	インターンシップ / Business Internship
	学部・研究科等名	人文学部 人間関係学部 国際キャリア学部 英語科
	担当教職員名・役職	キャリア開発教育センター運営委員(教員)Business Internship 山口直彦
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	102
	受入企業等数	75
	受入企業等名	福岡県庁、春日市役所、久留米市役所、西日本シティ銀行、アイケイケイ、西日本鉄道、読売新聞西部本社、コカ・コーラウエスト、福岡県赤十字血液センター、NTT西日本グループ、第一生命保険、日本生命保険、エフコープ生活協同組合、福岡トヨタ自動車、博多大丸、ホテルオークラ、ホテル日航福岡、福岡空港ビルディング、ANAセールス、JTBビジネスサポート九州 他
	インターンシップの分類	5.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ,6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	主に九州インターンシップ推進協議会に参画している企業様へのマッチングにてインターンシップが実施されている。企業担当者様より日々学生への評価等が行われることから、インターンシップ期間中の学生意識が高く保たれている。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している。6.当該インターンシップは、選択科目として実施している。8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	大学2年次以降、短大1年次以降
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	大学2単位、短大1単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「インターンシップ」科目として、夏季休業期間中及び春季休業期間中に実施している。主体的な職業選択や高い職業意識の育成などの観点から、時代の要請に学生が積極的に参加できるよう支援している。Business Internshipは学科の独自色が強い。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている。2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている。3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている。4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている。3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	「インターンシップ参加のためのオリエンテーション・参加者事後報告会」「事前説明会・前回参加者との交流会」「学内事前マナー指導及び九州インターンシップ推進協議会主催の事前説明会」の全会参加の必須。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	次回参加予定者向け「インターンシップ参加のためのオリエンテーション・参加者事後報告会」での報告必須。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている。4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	キャリア開発教育センター運営委員会にて議題として協議
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みの取入れに課題を残している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間は最低5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	

⑤	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	今回取り上げているインターンシップに関しては、1企業5日間以上のインターンシップを課している。日程が前述未済の場合は、いかなる理由があっても単位は認めない。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。7.その他
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	数社に限られるが、実績企業様を訪問しヒアリングした学生の現状を報告。
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	九州インターンシップ推進協議会の指定するフォーム(書式)により、受け入れ企業様が学生一人ひとりの評価を行い大学へ提出される。大学はその評価を参考に大学教員にて授業評価を行っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.fukujo.ac.jp/university/
問い合わせ先	大学等名	福岡女学院大学
	担当部署名	キャリア開発教育センター
	担当者役職名	室長
	担当者氏名	那須茂人
	電話番号	092-575-5974
	メールアドレス	career_dec1@fukujo.ac.jp